

第4回たかつき環境市民会議の結果あらまし

日 時：2003年12月23日(火)14:10～17:00

場 所：高槻市総合センター14階 C-1401

出席者：51名(事務局を含むと58名)

- ・ 一般会員：34名
- ・ 企画委員：14名
- ・ 当日参加者：3名
- ・ 事務局：7名

配付資料：第4回たかつき環境市民会議 資料

第4回たかつき環境市民会議・ご意見シート
ごみ減量グループからのアンケートのお願い
始めよう！ たかつきエコライフ 環境家計簿

内 容

開 会 (14:10～)

- ・ 司会 (企画委員：中山)

1. この間の経過について(14:10～14:15)

- ・ 報告者 (企画委員チェアマン：栗本)
- ・ これまで企画会議を20回開催してきた。
- ・ 12月10日に開催した第20回企画会議では、平成15年度末以降(平成16年度から)も、当面、企画会議を継続していくこと、現状で企画委員のメンバーが欠員になっているので補充していくことを、決定・確認した。
- ・ 企画会議は、誰にも開かれた会議なので、積極的に参加して、ご意見をお願いします。

2. 各グループのローカルアジェンダ案の発表 (14:15～16:20)

- ・ 途中10分間の休憩をはさみ、10のグループから各10分ずつ、資料やパワーポイント等を用いて発表がありました(当日配付資料P.2～35参照)。

<グループ名と発表者>

里山G(田平) 水G(森野) オリジナルマイバッグG(平山、丸山) 環境家計簿G(横山) プレス・環境ガイドG(前田) 環境講座G(結城) エコビレッジG(太田、片嶋) ごみ減量G(中村) エコ事業所G(鍵谷) 人にやさしい交通G(白岩)

3. 意見交換会 (16:20～17:00)

- ・ 司会 (企画委員：田口)
- ・ まず、鶴殿ヨシ原研究所より「『ヨシ・水・音』コンサート・見学会」のPRがありました

た。

・次いで、各グループへの質問や意見・提案等について意見交換がされました。

<おもな発言> : 質問・コメント / : 回答、対応

マイバッグGについて、マイバッグのデザインをつくる時は、一般市民に公募するの
か？

長期の行動計画の中で、アイデアを募集していきたい。

里山Gについて、森林の役割として「生物多様性の保全」についても加えてほしい。

山にドングリを植えていくという中で、特にアラカシ、シラカシなど常緑樹を植える
場合は、既存の植生や潜在植生などにも配慮して、植える場所の調査も併せてき
ちり行ってほしい。

落葉広葉樹が残っているところはその保全を、それ以外のところでは、もちろん場
所の状態や植生も調査しながら、常緑樹の植樹も考えられるのではないかと思う。

里山Gについて、現場を歩いて、調べることによって、進められることを期待する。

エコ事業所Gについて、事業所の対象はどの範囲か、特に中規模店舗が環境にル
ーズになっているのではないかと想像しているが、何か対応策はあるか？

市内で1万カ所の事業所があるが、90%以上が従業者数30人以下の規模である。
本来であれば環境負荷が高いところをメインの対象としたいが、そのデータはない。

商店など小規模な事業所では、グループを組んで取り組んでもらうことを考えて
いる。商店の町内会のようなものだ。現在、モデル実施できる商店を探している
ところである。

環境講座Gについて、これまで小学校で多くの経験をされて、よかったことや問題点
をまとめてもらえればありがたい。

授業の体制、先生の教え方、内容、子どもたちの捉え方などがわかってきた。特に、
子どもたちのレベルに合わせる事が大切だと感じている。今後、1学期、2学期
を踏まえて、結果や成果をまとめていきたい。水G、里山G、ごみ減量G等とも連
携していきたい。

里山Gについて、高槻の山は広大であるが、植生などの状況に応じて、ゾーニングは
されないのか？

植生については緑の国勢調査により、一定調査が行われているが、もう少しきめ細
かくするためには、調査のための知識、体制などが必要になってくる。

里山Gについて、「ターゲット植生」という考え方は全国の先端を走っている。その他
のグループについても、里山、水、ごみ、環境講座、エコビレッジなど、横につな
がる可能性がたくさんある。今後は積極的に連携を意図されてはどうか。

プレスGについて、現状報告の記事もよいが、それらを分析して、新聞でいう「社説」
や「指針」的なものもできないか。

当面は、ホームページを開設して、もっとリアルタイムの情報を提供できることを
めざしている。その次の段階で、方向性を示すようなことも考えていきたい。

環境講座Gからの補足について、講座Gはまず行動してきた。その中で、子どもの中に意識が芽生えてきたことがわかる。そして、子どもや先生が次のステップをめざすなど学校の中でも広がっている。つまり、自信を持って我々が行動すれば、自ずと広がっていくと思う。

環境講座Gについて、一般市民への学習はしないのか？

現在は、子どもが対象であるが、一般市民にも広げていきたい。

閉会のあいさつ / 企画委員チェアマン：栗本

- ・今日の発表で、LA策定の見通しが立ったのではないかと思う。
- ・企画会議へも是非参加ください。

閉 会